

文京区立鷗外記念本郷図書館



文京区立鷗外記念本郷図書館

20年のあゆみ

文京区立真砂図書館  
☎3815-6801



昭和57年11月

101

## 発刊にあたって

文京区教育委員会  
教育長 貫井昭三



鷗外記念本郷図書館は、昭和37年、森鷗外ゆかりの「観潮楼」跡に開館して以来、今年で満20年を迎えることができました。これもひとえに区民の皆様をはじめ、図書館設立にご尽力された森鷗外記念会の方々の御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当館は、鷗外記念室を設け文豪森鷗外の偉大なる業績を後世に伝えると共に、地域に根ざした図書館サービスも行う特色ある図書館として発足し、今日に及んでおります。

さて、文京区は文教の地として「文化の香り高いまち」づくりをめざしております。とりわけ情報及び文化センターとしての役割を担う図書館の充実には力を注いでおり、来年度には現在建設中の1館を加えて計8館となる予定です。これにより、更にきめの細かい図書館サービスができるものと確信しております。

鷗外記念本郷図書館は、20年間の歩みを土台にして各図書館と相互に協力しあいながら、更に充実を図り、皆様からより親しまれる図書館にするとともに、鷗外研究の中心地としてより信頼される図書館になるよう一層努力したいと考えております。どうぞよろしく御支援の程、お願い申し上げます。

## 開館20周年によせて

森鷗外記念会  
理事長 井形卓三

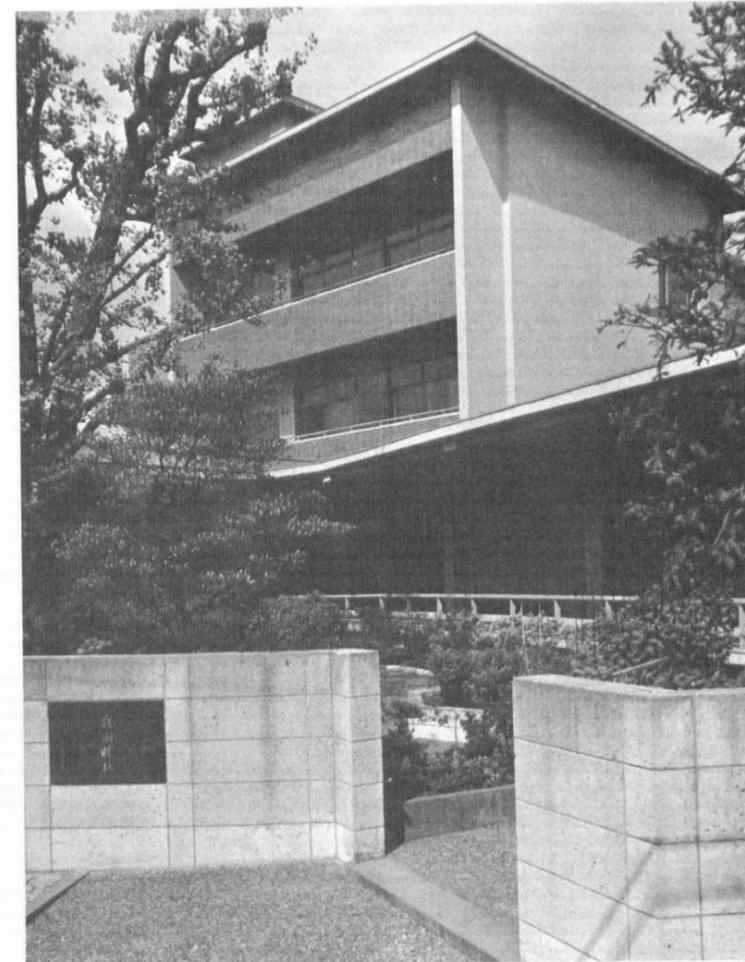


鷗外記念本郷図書館開館20周年にあたり心からお慶び申し上げます。文豪森鷗外を偲ぶ殿堂を観潮楼跡に、との思いは、御遺族の強い願望をはじめとして、鷗外を知る人々、文学者・研究者など、多くの方々の願いでもありました。私は当時区長として、鷗外記念館建設と関わりがありましたので、この図書館については数々の思い出があり、ついに鷗外記念本郷図書館として落成の日を迎えることができた時の感動は今も忘れることができません。

さて「森鷗外記念会」は、鷗外顕彰事業を押しすすめるため、従来の記念館建設委員会を改称し、昭和39年7月9日を期して再出発したものです。以来記念会は、図書館と一体となって今日まで鷗外記念室の運営に力を注いでまいりました。研究誌『鷗外』の発行をはじめ鷗外関係複製資料の頒布・「鷗外忌」の運営など、数々の記念事業を行っております。

今年は鷗外生誕120周年にあたり、これを記念して「鷗外展」が開催されますことに対し関係者の方々に心から感謝申し上げます。

また今後とも鷗外記念本郷図書館が、文豪を偲ぶ地として益々発展するよう願っております。



庭園側から見た図書館

## 目次

発刊にあたって 教育長 貫井昭三  
開館20周年によせて 理事長 井形卓三

### あゆみと現状

おいたち	1
利用あんない	2
施設あんない	3
鷗外記念室あんない	5
略年表	7

### 資料

統計Ⅰ	8
統計Ⅱ	9
文学講演会	11
こども会	16
レコードコンサート	18

### (付)

歴代職員名簿	19
--------	----

～おいたち～

前身

明治43年8月東京市立本郷簡易図書館として本郷区東片町17番地本郷尋常高等小学校（現向丘一丁目・区立第六中学校）に設置されたのが始まりである。大正2年4月東京市立本郷図書館となり、昭和18年7月東京都制の施行に伴い都立図書館となった。

やがて、昭和25年10月、図書館の管理運営が区に移管され文京区立本郷図書館として再出発した。

鷗外記念本郷図書館の誕生

都から移管された区立本郷図書館は、その後移転拡張が必要な状況になったが用地難などの問題があった。

一方では、鷗外記念館建設の運動が起きていた。すなわち、昭和25年の初頭、鷗外が生涯の後半生を過ごした観潮楼跡に鷗外記念館を、ということが遺族の方を中心として文学者・研究者など多くの人々からもちあがった。やがて地元である文京区の手でとりあえず建設予定地として嗣子森於菟氏より旧宅地の大部分と蔵書の一部を譲り受け、都の文化史蹟に指定されるとともに区立の児童遊園地として活用してきた。

このような状況の中でやがて図書館と記念館とを併設するとの構想が生れてきた。この構想については記念館建設のため尽力された方々にも遺族の間にも異存がないことが確認されると、文京区の手で、図書館とともに記念館も観潮楼跡に建設することが決まったのである。ここに鷗外記念室を設けた図書館が誕生し昭和37年9月、鷗外生誕100周年の年に開館した。

これが今日の鷗外記念本郷図書館である。



観潮楼跡(児童遊園) —昭和28年頃—

～利用あんない～

鷗外記念図書館としての特色を生かすため、開館以来、鷗外文学を中心とした文学講演会を行う一方、近代日本文学に重点をおいた収書にもつとめ、蔵書の約45%は「文学」関係となっています。

今後、更に、鷗外記念図書館と地域図書館と言う二大目的に沿って、サービスの充実をはかります。

- 貸出 書架は開架式ですので、本を自由に手にとって選べます。1人1回4冊まで15日間、どなたでも借りられます。最初に住所を確認出来るもの（身分証明書・学生証・保険証・免許証など）をお持ち下さい。その場で「貸出券」を発行します。有効期間は1年です。

- 予約サービス 探している本が見当たらない時には予約サービスをご利用ください。貸出中の場合には、返却され次第連絡します。当館にない場合は他館からの借受または購入により、出来るだけご要望にお答えします。

- 参考調査 調べたいこと、知りたいこと、また読みたい本のことなどお気軽にご相談ください。

- 子ども室 絵本・紙芝居・童話など、子どもたちのための本、そして大人も楽しめる本がそろっています。

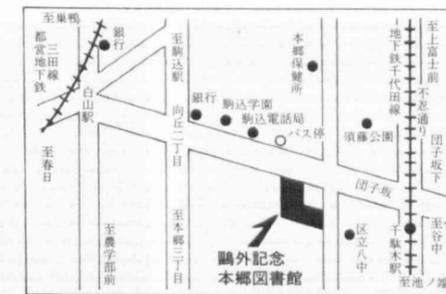
- 大型活字本 大きい活字の本もあります。また拡大器を備えた専用席・ルーペもありますのでご利用下さい。

- コピーサービス 図書館の資料に限り、著作権法にふれない範囲でコピーサービスをしています。B4判1枚30円。

- 行事 文学講演会（年10回）こども会（七夕・クリスマス・ひなまつり）

- 開館時間 午前10時～午後8時（ただし土・日・鷗外記念室は午後5時まで）

- 休館日 第1・3・5日曜日 第2・4日曜日の翌日 第3木曜日 国民の祝日 年末年始 特別整理期間



地下鉄千代田線千駄木駅徒歩3分 都バス駒込電話局前徒歩1分  
〒113 文京区千駄木1-23-4  
☎(828) 2070・2071

～ 施設あんない ～



ホール (58.5㎡)

設計者 谷口吉郎氏  
 施工者 建築 勝村建設株式会社  
 電気 友成電機工業株式会社  
 衛生 株式会社泉屋工業所  
 着工 昭和36年12月  
 完工 昭和37年8月  
 落成式 昭和37年10月19日  
 敷地面積 727.02㎡  
 庭園 172.30㎡  
 建築面積 317.86㎡  
 延面積 1007.77㎡  
 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階  
 地下1階



子ども室 (36.6㎡)



記念室 (72.36㎡)



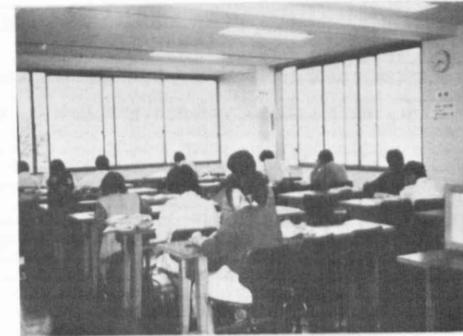
カウンター・書庫 (89.4㎡)



新聞・雑誌室 (42㎡)



閲覧室 (45㎡、49席)



閲覧室 (84㎡、75席)



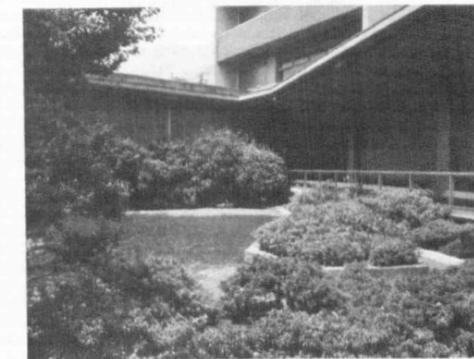
大銀杏



沙羅の木、庭石



「沙羅の木」詩碑



回廊、庭園

～ 鷗外記念室あんない ～

故森於菟博士から寄贈された資料を基礎にして購入・寄贈等による資料収集を続けている。鷗外記念室で資料展示をする一方、研究者のために図書閲覧も行っている。

所蔵資料数(本年7月末現在)

I 遺品資料		2,365点	
1. 鷗外記念品	114点		
(1) 手回品	48点	(2) 生前記念品	21点
(3) 没後記念品	8点	(4) 家藏品	16点
(5) 記念事業関係	21点		
2. 鷗外自筆原稿類	174点		
(1) 小説・戯曲	8点	(2) 詩歌	14点
(3) 考證	7点	(4) 評論・随筆	20点
(5) 手記・記録	81点	(6) 日記	17点
(7) 書・図表・墓表	12点	(8) 雑・題箋等	8点
(9) 賀古鶴所筆記	3点	(10) 遺言書	4点
3. 写真	114点		
(1) 鷗外	48点	(2) 家族・知人	27点
(3) 史跡	39点		
4. 家族関係	36点		
5. 賀古鶴所文書	7点		
6. 雑	4点		
8. 書簡(封書)	628点		
(1) 鷗外自筆	182点	(2) 家族より鷗外宛	124点
(3) 家族間	2点	(4) 家族より知人宛	5点
(5) 知人より鷗外宛	250点	(6) 知人より家族宛	50点



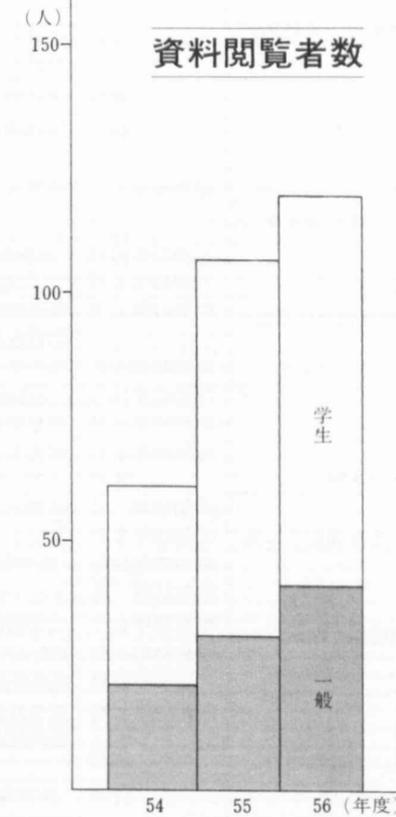
胸像(武石弘三郎制作)



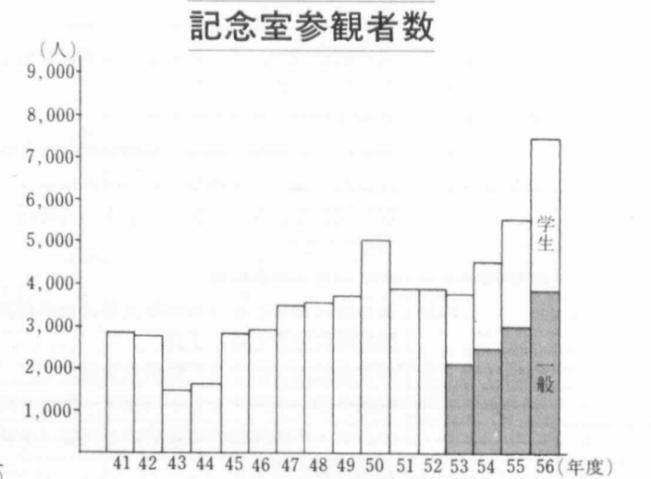
モノグラム

(7) 知人間	15点
9. 書簡(はがき)	1,288点
(1) 鷗外自筆	110点
(2) 家族より鷗外宛	11点
(3) 家族間	84点
(4) 家族より知人宛	2点
(5) 知人より鷗外宛	485点
(6) 知人より鷗外宛寄書	43点
(7) 知人より家族宛	456点
(8) 知人より家族宛寄書	39点
(9) 知人間	15点
(10) 宛名のない寄書・絵はがき等	43点

II. 図書資料		2,947点	
1. 鷗外著書	1,078点		
(1) 著書(生前発行)	289点		
(2) 序文・跋等のあるもの	30点		
(3) 全集・選集	241点		
(4) 著書(没後発行)	275点		
(5) 雑誌(生前発行)	206点		
(6) 蔵書残部	37点		
2. 親族著書	73点		
3. 鷗外研究書	823点		
4. 雑誌(没後発行)	750点		
5. 研究紀要	71点		
6. 教科書	63点		
7. 芸能	44点		
8. スクラップ	8点		
9. 雑	37点		



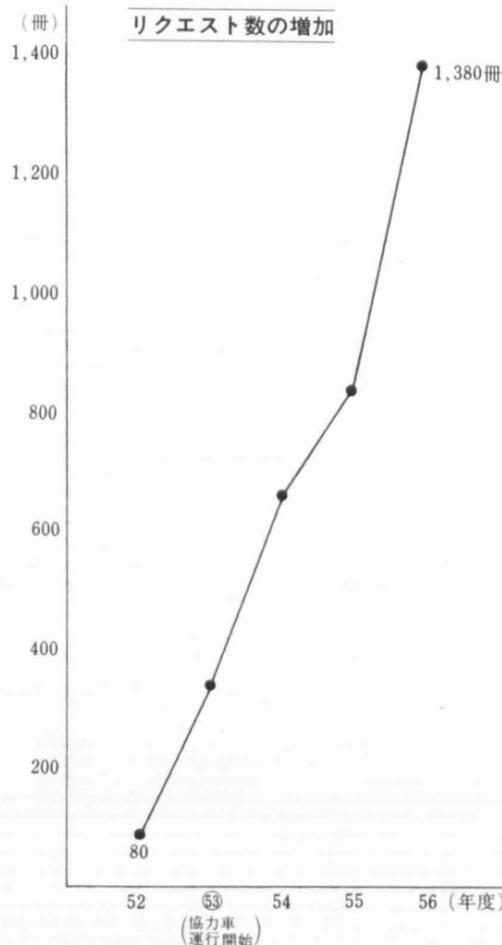
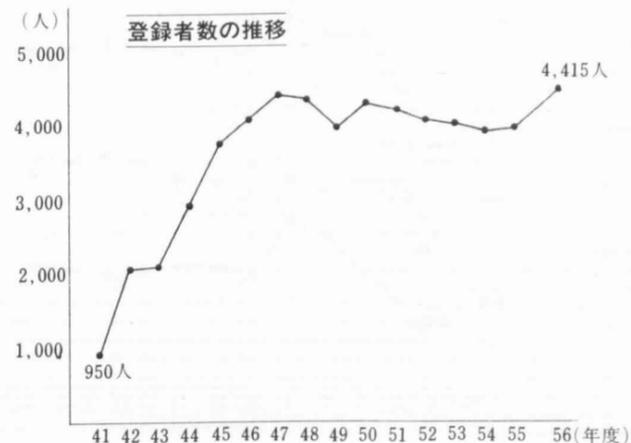
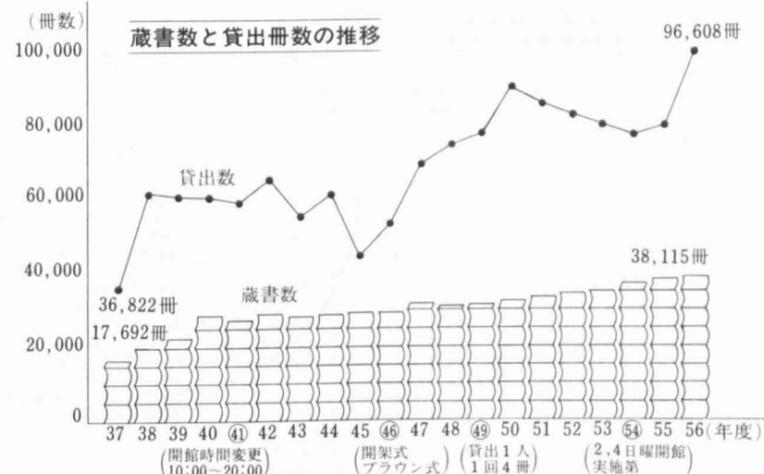
「即興詩人」(明治35年・春陽堂)



～ 略 年 表 ～

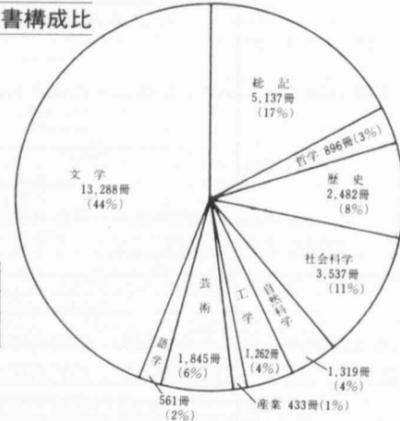
年 月	事 項	年 月	事 項
明治43年12月	東京市立本郷簡易図書館（本郷区東片町17番地 本郷尋常高等小学校内）	9 月	図書館のみ開館する。開館時間午前9時30分～午後5時 日曜日は休館日となる。
大正2年4月	東京市立本郷図書館となる。	10月	図書館落成式及び記念室開きが行なわれる。
6 月	館外貸出開始	11月	開館時間を午後8時までに延長し、午前9時30分～午後8時とする。
大正5年1月	盲人図書を置く（加藤梅吉氏寄託のもの）	昭和38年7月	講演会「鷗外をめぐる人々」シリーズ始まる。
大正11年11月	アインシュタインの相対性原理の講演会開催	12月	レコードコンサート開始（昭和44年12月まで）
大正12年8月	松坂屋いとう呉服店（現松坂屋上野店）へ図書を貸出す（毎月100～150冊）	昭和39年11月	「森鷗外展」開催 期間11月21日～23日
大正14年11月	文芸講演会開催（講師今沢慈海氏、芥川龍之介氏）	昭和40年4月	文学講座開講（昭和44年11月まで）
昭和4年1月	点字の図書目録（点字図書300冊）作成（加藤梅吉氏の寄託した点字図書のもの）	昭和41年4月	開館時間午前10時～午後8時となる。館外貸出しの保証人制度廃止 閲覧室の座席指定制をとり入れる（昭和49年5月まで）
昭和18年7月	東京都制施行により東京都立本郷図書館となる。	昭和42年4月	貸出しの制限をひろげる。1人1回2冊 10日間
昭和19年4月	戦時により休館となる。	昭和43年10月	「文豪森鷗外展」開催 期間10月25日～27日
昭和22年4月	管理運営が区長に委任される。	昭和45年6月	児童用貸出袋を作る。
6 月	有料による閲覧で再開 開館時間午後1時～8時	昭和46年6月	閲覧方式を開架式に、貸出方式をブラウン方式にする。
昭和24年4月	東京都文京区立図書館々則の改正により 館内閲覧1回3円 館外貸出1ヶ月50円 団体貸出1ヶ月100円となる。	8 月	コピーサービス開始(利用券により職員が行う)
昭和25年4月	日本十進分類法採用	昭和47年1月	返却ポスト設置(夜間、休館日でも返却できるようになる)
10月	文京区に移管となり東京都文京区立本郷図書館となる。 開館時間午後1時～7時	昭和49年5月	貸出1人1回4冊となる。
昭和26年4月	図書館法施行により閲覧料無料となる。	昭和50年11月	「鷗外記念室特別展」開催 期間11月4日～29日
昭和30年4月	開館時間を延長する。午前10時～午後8時 小石川・本郷両館の相互貸出を実施（小説、学習参考書、各種事典を除く）	昭和51年1月	コピーサービスをコインベンダーによるセルフサービスにする。
昭和36年12月	観潮楼跡に新館舎着工	昭和52年6月	文学講演会第100回記念講演会開催（6月4日区民センター）
昭和37年7月	東京都文京区立鷗外記念本郷図書館となる。	昭和54年4月	第2,4日曜日を閉館する。開館時間 午前10時～午後5時 国際児童年に当り世界の絵本展開催 期間11月27日～12月1日 館舎設備工事のため変則開館となる（一部図書の貸出しと鷗外記念室の開館） 鷗外記念室新装
		11月	「鷗外展」開催（森鷗外生誕120周年及び鷗外記念本郷図書館開館20周年記念事業） 期間 11月9日～17日

～ 統計 I ～



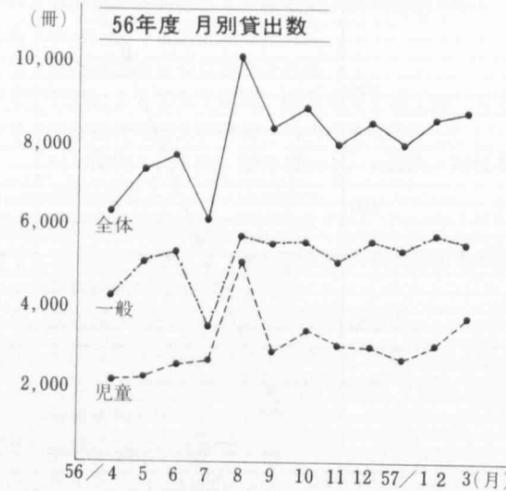
～ 統計II ～

56年度 一般図書蔵書構成比



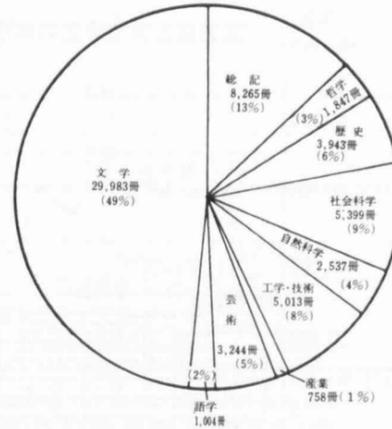
56年度 蔵書数

一般図書	30,760冊
児童図書	7,355冊
計	38,115冊

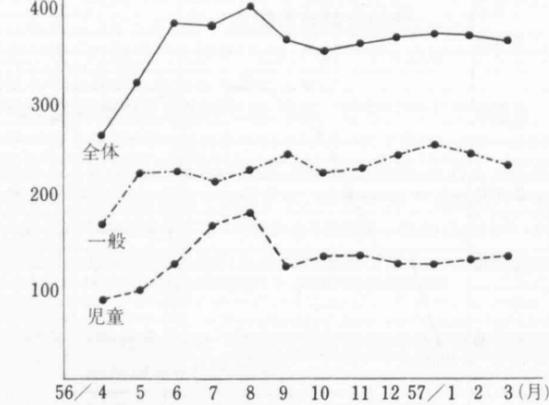


56年度 一般図書部門別年間貸出比

一般図書貸出総数 61,993冊



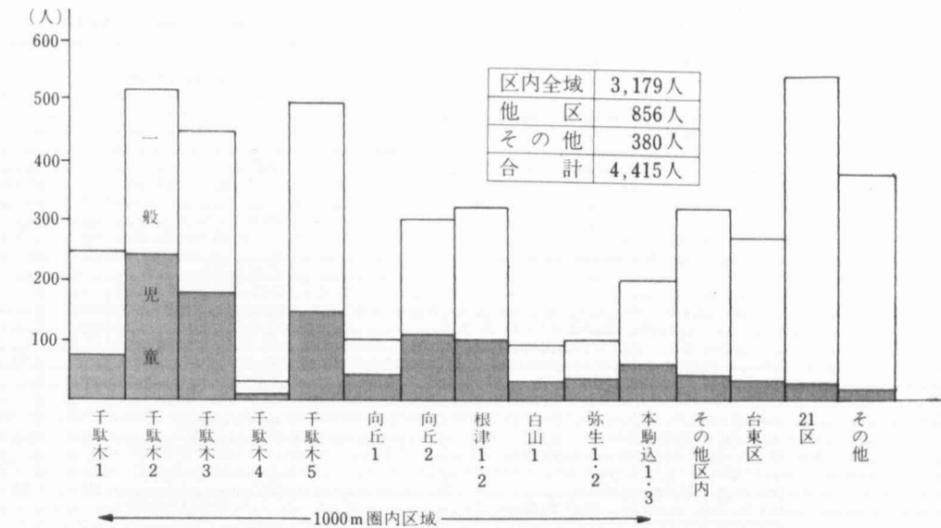
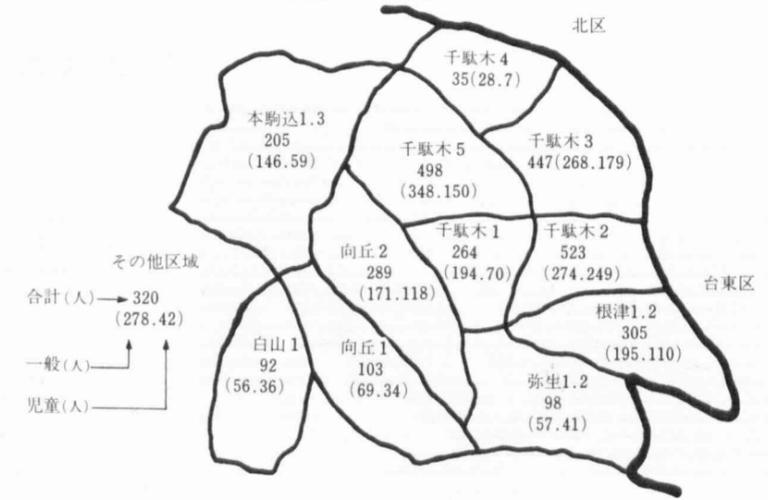
56年年度 月別一日平均貸出数



永年保存雑誌

雑誌名	保存開始
馬酔木	昭和38.1 42巻1号
アララギ	" 38.1 56巻1号
海	" 44.7 1巻2号
群像	" 38.1 18巻1号
言語生活	" 38.1 136号
現代のエスプリ	" 44.3 36号
国語と国文学	" 38.1 40巻1号
国文学解釈と鑑賞	" 38.1 28巻1号
国文学解釈と教材の研究	" 38.1 8巻1号
思想	" 38.1 463号
新潮	" 38.1 60巻1号
短歌	" 38.1 10巻1号
短歌研究	" 38.1 20巻1号
展望	" 39.10~53.9 70号
日本児童文学	" 38.1 18巻1号
俳句	" 38.1 12巻1号
俳句研究	" 38.1 30巻1号
文学	" 38.1 31巻1号
文学界	" 38.1 17巻1号
文学芸	" 38.1 2巻1号
ホトトギス	" 38.1 66巻1号

56年度貸出登録者分布



～文学講演会～



講演会会場

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
37	1	37.11	鷗外と文学	成蹊大学教授 成瀬正勝	—
			森鷗外と舞姫の秘密	学習院大学講師 長谷川 泉	
			観潮楼今昔	森鷗外長男 森 於菟	
38	2	38.3	鷗外を偲ぶ	成蹊大学教授 成瀬正勝 文芸評論家 野田宇太郎	50
			鷗外をめぐる人々1 石川啄木について	埼玉大学教授 吉田精一	
38	3	38.7	鷗外をめぐる人々1 石川啄木について	埼玉大学教授 吉田精一	75
	4	38.9	鷗外と漱石	独文学者 高橋義孝	91
	5	38.11	幸田露伴について	成蹊大学教授 成瀬正勝	70
	6	39.2	永井荷風について	共立女子大学教授 高橋邦太郎	70

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
39	7	39.5	鷗外をめぐる人々5 坪内逍遙について	法政大学教授 小田切秀雄	60
	8	39.10	佐藤春夫について	英米文学者 島田 謹二	35
	9	40.1	与謝野鉄幹、晶子について	青山学院大学教授 新聞新一	45
	10	40.3	小山内薫について	演劇評論家 尾崎宏次	25
40	11	40.4	文学講座 1 王朝時代の女性文学者たち	評論家 竹西寛子	60
			2 近代文学における女流文学者の系譜	文芸評論家 板垣直子	
40	12	40.5	鷗外をめぐる人々9 上田 敏について	東洋大学々長 矢野峰人	30
	13	40.7	北原白秋について	昭和女子大学教授 木保 修	56
	14	40.9	斎藤茂吉について	明治大学教授 柴生田 稔	60
	15	40.10	木下杢太郎について	文芸評論家 野田宇太郎	35
41	16	40.12	鷗外研究講座 1 森鷗外と常磐会	宇都宮大学教授 古川清彦	50
			2 賀古鶴所の書簡からみた鷗外	相模女子大学教授 松原純一	
41	17	41.11	鷗外をめぐる人々13 鷗外と泉鏡花について	昭和女子大学助教授 村松定孝	60
	18	41.12	吉井 勇について	実践女子大学教授 木保 修	25
	19	42.2	鷗外研究講座3 ベルリンの鷗外遺跡をたずねて	哲学評論家 篠原正瑛	35
	20	42.3	鷗外をめぐる人々15 平出 修について	最高検察庁検事 平出 禾	30
42	21	42.6	文学講座3 鷗外と情史について	東京女子大学教授 笹 潤友一	55

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
42	22	42.7	鷗外をめぐる人々16 平野万里について	明治大学助教授 八角 真	30
	23	42.8	文学講座4 鷗外の純抵抗的精神	作家 渋谷 駿	40
42	24	42.10	鷗外をめぐる人々17 美しい時代「柳村、荷風、杢太郎」	随筆家 小堀杏奴	90
	25	42.11	文学講座5 鷗外と演劇について	早稲田大学教授 稲垣達郎	50
	26	42.12	鷗外をめぐる人々18 伊藤左千夫について	歌人 土屋文明	130
	27	43.3	高村光太郎について	文芸評論家 吉本隆明	115
43	28	43.5	文学講座6 鷗外のキタ・セクスアリスをめぐって	学習院大学講師 長谷川 泉	73
	29	43.7	鷗外をめぐる人々20 佐佐木信綱について	文芸評論家 野田宇太郎	50
	30	43.9	文学講座7 鷗外の私小説について	文芸評論家 瀬沼茂樹	52
	31	43.10	鷗外の問題について	東京大学教授 吉田精一	98
43	32	43.10	鷗外雑談	文芸評論家 中野重治	136
	33	43.11	於母影と舞姫について	二松学舎大学教授 関 良一	123
44	34	43.12	鷗外をめぐる人々21 芥川龍之介について	成蹊大学教授 成瀬正勝	96
	35	44.4	文学講座11 川端康成の文学について	学習院大学講師 長谷川 泉	72
44	36	44.6	鷗外をめぐる人々22 尾崎紅葉について	昭和女子大学助教授 岡 保生	71
	37	44.9	文学講座12 自然主義と鷗外	早稲田大学教授 川副国基	53
44	38	44.10	鷗外をめぐる人々23 坪内逍遙について	専修大学教授 関 良一	38
	39	44.11	文学講座13 反自然主義文学について	早稲田大学教授 川副国基	61

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
44	40	44.11	鷗外をめぐる人々24 幸田露伴について	小説評論家 塩谷 賛	41
	41	44.12	樋口一葉と鷗外	上智大学教授 村松定孝	72
45	42	45.9	鷗外の文学と漱石の文学	法政大学教授 荒 正人	121
	43	45.10	鷗外の小説におけるロマンティズム	作家 渋谷 駿	51
	44	45.10	森鷗外と精神	九州大学名誉教授 向坂逸郎	127
	45	45.11	鷗外の歴史小説	埼玉大学教授 吉田精一	101
46	46	45.12	史実と虚構 —歴史小説のなかで—	文芸評論家 尾崎秀樹	81
	47	46.3	歴史小説の嘘	文芸評論家 花田清輝	85
46	48	46.3	現代文学この一年	法政大学教授 小田切秀雄	91
	49	46.4	鷗外の作品と私小説	学習院大学講師 長谷川 泉	54
46	50	46.6	鷗外の作品鑑賞「雁」	早稲田大学教授 稲垣達郎	100
	51	46.9	高橋和巳の文学について	文芸評論家 秋山 駿	150
46	52	46.10	鷗外と漱石	文芸評論家 吉本隆明	200
	53	46.11	野間宏の文学について	法政大学教授 小田切秀雄	110
47	54	46.12	「智恵子抄」新見	専修大学教授 関 良一	80
	55	47.3	現代文学この一年	文芸評論家 和泉あき	43
47	56	47.5	詩人としての森鷗外	東京大学助教授 小堀桂一郎	104
	57	47.6	川端康成の文学について	学習院大学講師 長谷川 泉	115

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
47	58	47.7	伊藤整の文学	大正大学教授 瀬沼茂樹	80
	59	47.9	鷗外の作品鑑賞 「渋江抽斎」	作家 渋川 驍	30
	60	47.10	日露戦争と森鷗外 「うた日記をめぐる」	早稲田大学助教授 竹盛天雄	61
	61	47.11	内部の人間 「ドストエフスキー的なもの」	文芸評論家 秋山 駿	145
	62	47.12	鷗外日記の特色	埼玉大学教授 吉田精一	58
	63	48.3	現代文学この一年	文芸評論家 伊藤成彦	30
48	64	48.4	鷗外の歴史小説	学習院大学講師 長谷川 泉	74
	65	48.6	鷗外文学の魅力 「サラリーマン鷗外の哀歎」	日本銀行理事 吉野俊彦	64
	66	48.9	鷗外の足跡を訪ねて	明治大学教授 大島田人、八角 真	83
	67	48.10	詩と小説について	文芸評論家 遠丸 立	75
	68	48.11	内向する世代の文学	文芸評論家 秋山 駿	114
	69	48.12	昭和文学の始まり	法政大学教授 小田切秀雄	102
49	70	49.2	現代文学この一年	武蔵野女子大学教授 大河内昭爾	55
	71	49.3	鷗外における歴史と自然	法政大学教授 柄谷行人	85
	72	49.4	森鷗外と九州	文芸評論家 野田宇太郎	72
	73	49.5	旧師鷗外先生の間像	鷗外門下生 浜 隆一郎	69
	74	49.6	鷗外精神と「かのように」	学習院大学講師 長谷川 泉	86
	75	49.9	鷗外の歴史文学	早稲田大学助教授 竹盛天雄	72

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
49	76	49.10	戦争文学と太宰治・石川淳	法政大学教授 小田切秀雄	120
	77	49.11	文学における「私」	文芸評論家 秋山 駿	140
	78	49.12	現代文学この一年	文芸評論家 川村 二郎	90
	79	50.1	父鷗外の生き方	随筆家 小堀杏奴	143
	80	50.2	日本語と経験	文芸評論家 柄谷行人	95
	81	50.3	文学賞の問題 「芥川賞・直木賞の40年」	文芸評論家 尾崎秀樹	85
50	82	50.5	「カズイシチカ」と父系	学習院大学講師 長谷川 泉	54
	83	50.5	文学の中に見る女の生き方	作家 大原富枝	150
	84	50.6	危機の克服ということ 「智恵袋について」	独文学者 小堀桂一郎	63
	85	50.7	文芸雑話	文芸評論家 吉本隆明	150
	86	50.9	鷗外の作品鑑賞 「百物語」	作家 渋川 驍	53
	87	50.10	漱石と龍之介について	東京大学教授 三好行雄	115
51	88	50.11	鷗外と漱石	文芸評論家 荒 正人	124
	89	50.12	歴史ブーム今昔 「最近の文学状況」	文芸評論家 尾崎秀樹	40
	90	51.1	地下の鷗外が心 「遺言解釈について」	東京大学助教授 平川祐弘	57
	91	51.2	文壇史の伝えるもの	作家 近藤富枝	48
	92	51.5	歴史小説と私	作家 吉村 昭	65
	93	51.6	鷗外作品鑑賞シリーズ 第1回「仮名遺意見」	早稲田大学教授 沢柳大五郎	46

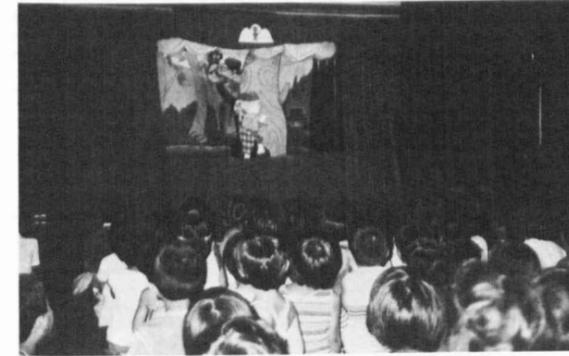
年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
51	94	51.7	私の文学観	詩人・作家 三木 卓	94
	95	51.9	鷗外作品鑑賞シリーズ 第2回「杯」	桐朋学園大学教授 高橋義孝	75
	96	51.10	鷗外における日本と西洋	学習院大学講師 長谷川 泉 東洋大学教授 神田孝夫 早稲田大学教授 竹盛天雄	74
	97	51.11	荷風と文壇	作家 近藤富枝	53
	98	51.12	鷗外の足跡を訪ねて 「山椒大夫、伝説の跡を 訪ねて」	明治大学教授 大島田人 明治大学教授 八角 真	38
	99	52.1	「私の文学」 現代に生きて…	作家 大庭みな子	92
100	52.6	〈第100回記念文学講演会〉 父親としての鷗外	随筆家 小堀杏奴	412	
		サラリーマンとしての鷗外	経済評論家 吉野俊彦		
		映画「雁」	大映作品		
101	52.9	戦場小説の世界	作家 伊藤桂一	23	
52	52.10	鷗外作品鑑賞シリーズ第3回 「うたかたの記」 「ドイツ留学時代の青春」	学習院大学講師 長谷川 泉	48	
		原風景 「文学と風土について」	文芸評論家 奥野健男		
		「阿部一族」の構図 「鷗外は歴史の自然」をどう解釈したか	跡見学園女子大学 助教授 山崎一穎		
105	52.11	文学散歩①「文学散歩と旅」 「森鷗外の生涯にふれて」	文芸評論家 野田宇太郎	66	
		文学散歩② 「文学散歩と本郷・小石川」	〃		

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
52	106	52.12	文学と私 「行き帰り」を中心に	作家 後藤明生	26
	107	53.1	鷗外と浦島太郎	早稲田大学教授 清水 茂	68
	108	53.2	作家と作品の間 「テレビ化にあたって」	放送作家 高橋玄洋	87
	109	53.3	小説とのつきあい方 「芥川賞作品の場合を含めて」	作家 河野多恵子	67
	110	53.5	現代を問う 「文学者の考察」	作家 野間 宏	170
	111	53.5	〈平出修・与謝野晶子生誕100年に際して〉 鷗外と平出修 鷗外と与謝野鉄幹・晶子	東北学院大学教授 平出 禾 青山学院大学講師 逸見久美	62
53	112	53.6	小説の文体について 「荷風と谷崎を中心として」	作家 古井由吉	126
	113	53.7	森鷗外と山県有朋	国文学研究資料館教授 古川清彦	62
	114	53.9	〈文学座談会〉 体験の作品化	作家 伊藤桂一 作家 萩原葉子	152
	115	53.11	森鷗外と岳父荒木博臣 「漢詩文集「猶存詩鈔」を中心に」	全国大学国語学会 坂本秀次	51
	116	53.12	文学と医学	作家 加賀乙彦	110
	117	54.2	近代文章史上の森鷗外	文学博士 山本正秀	55
54	118	54.3	医者と文学	作家 なだいなだ	168
	119	54.4	鷗外の史伝文学	松島栄一	61
	120	54.6	近代日本文学と「私」	文芸評論家 饗庭孝男	86
	121	54.6	日本の知識人における問題と責任	早稲田大学教授 森 常治	74

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者	
54	122	54.7	今、なぜ書く	作家 秦 恒平	52	
	123	54.9	日常と非日常	作家 井上光晴	145	
	124	54.10	諸家の鷗外観	国士館大学教授 岡野他家夫	41	
	125	54.11	古典に学ぶ	作家 阿部光子	53	
	126	54.11	絵本の周辺	画家・絵本作家 田島征三	54	
	127	55.1	鷗外、その精神構造	文芸評論家 長谷川 泉	90	
	128	55.3	鷗外とベルリン	哲学者 篠原正瑛	58	
	129	55.5	私の逢った作家たち	文芸評論家 巖谷大四	50	
	130	55.6	ドイツの鷗外遺跡をたずねて	明治大学教授 大島田人	102	
	131	55.7	事実と真実の間	作家 小林久三	71	
55	132	55.9	現代人の読書	評論家 紀田順一郎	64	
	133	55.10	比較文学的舞姫論	ノートルダム清心女子大 学教授 笹 潤友一	47	
	134	55.10	智恵子抄の背景	文芸評論家 北川 太一	104	
	135	55.12	森鷗外と常盤会 —短歌雑誌「たづぞの」からみた全貌—	山梨学院大学助教授 坂本秀次	25	
	136	56.1	私の読書体験	作家 阿刀田高	122	
	137	56.2	森鷗外と佐藤鏡水(春夫の父)	日本大学講師 佐藤良雄	47	
	138	56.3	児童文学の現在	児童文学作家 砂田 弘	46	
	56	139	56.5	「舞姫」エリスの原像	前ミュンヘン領事 川上俊之	165

年度	回数	開催年月	演 題	講 師	参加者
56	140	56.6	乃木希典の殉死と森鷗外	文芸評論家 尾崎秀樹	146
	141	56.7	インド・ヨーロッパ・日本 —近代の忘れたもの—	作家 中野孝次	60
	142	56.9	私と推理小説	作家 日下圭介	48
	143	56.10	言葉の風景	作家 阿部 昭	60
	144	56.11	本郷と鷗外の「雁」	立教大学教授 前田 愛	106
	145	56.11	北斗からおなべまで —私の児童文学の世界—	児童文学者 神沢利子	60
	146	57.1	鷗外の青春とドイツ	文芸評論家 長谷川 泉	130
	147	57.2	笑いの構造	文芸評論家 柄谷行人	147
	148	57.3	本のたのしみ	詩人 長田 弘	41
	149	57.4	読書と創作	作家 黒井千次	80
57	150	57.5	鷗外の戯曲について	劇作家 木下順二	143
	151	57.9	伝記作家としての鷗外	文芸評論家 佐伯彰一	94

## ～こども会～



こども会会場

年度	回数	開催年月	行 事 名	内 容	出 演 者	参加者
37	1	37.12	クリスマス 子供会	人形劇、紙芝居、 童話	職 員	120
	2	38.3	ひなまつり 子供会	うた、童話、紙芝居、 手品、劇	〃	180
38	3	38.8	夏休み子供会	劇	職 員	—
	4	38.12	クリスマス 子供会	人形劇	〃	—
	5	39.3	ひなまつり 子供会	うた、ゆうぎ、 おはなし	〃	120
39	6	39.8	夏休み子供会	児童劇、童話、 ゆうぎ	職 員	95
	7	39.12	クリスマス 子供会	ゆうぎ、おはなし、 手品	〃	120
	8	40.3	ひなまつり 子供会	おはなし、ゆうぎ	〃	—
	40	9	40.8	夏休み子供会	うた、クイズ、 おはなし	職 員

年度	回数	開催年月	行 事 名	内 容	出 演 者	参加者
40	10	40.12	クリスマス 子供会	うた、紙芝居、 おはなし	職 員	150
	11	41.3	こども会	スライド、おはなし	〃	100
41	12	41.7	夏休み子供会	うた、おはなし、 児童劇、紙芝居	職 員	120
	13	41.12	クリスマス 子供会	おはなし、うた、 ペープサート	〃	110
	14	42.3	こども会	紙芝居、おはなし、 ゲーム、うた	〃	80
42	15	42.8	夏休み子供会	うた、紙芝居、おはなし ゲーム、ペープサート	大塚講話会	246
	16	42.12	クリスマス 子供会	うた、紙芝居、 おはなし、児童劇	〃	150
	17	43.3	春休み子供会	おはなし、 ゲーム、映画	劇団東少	200
43	18	43.8	夏休み子供会	うた、ゆうぎ、クイズ ゲーム、映画	職 員	150
	19	43.12	クリスマス 子供会	影絵、人形劇、ゆうぎ、 うた、紙芝居	日本女子大児童学科	150
	20	44.3	春休み子供会	人形劇、ゲーム、紙芝居、 ゆうぎ、うた、映画	ぐるーぶ・かぶ	100
44	21	44.8	夏休み子供会	指人形、ゆうぎ、 映画	東京童話会	100
	22	44.12	クリスマス 子供会	人形劇、おはなし	東洋大学児童文化研究所	100
	23	45.3	春休み子供会	影絵、手品、映画	くるみ座	90
45	24	45.8	夏休み子供会	うた、おはなし、紙芝 居、人形劇、映画	東京童話会	115
	25	45.12	クリスマス 子供会	えばなし、人形劇、ペー プサート、ゲーム	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	26	46.2	ひなまつり 子供会	人形劇、えばなし、ど うわ、ペープサート、ゲーム	〃	150

年度	回数	開催年月	行事名	内 容	出演者	参加者
46	27	46. 7	七夕まつり 子供会	童話、ペープサート、 絵ばなし、人形劇、ゲーム	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	28	46.12	クリスマス 子供会	"	"	150
	29	47. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150
47	30	47. 7	七夕まつり 子供会	童話、ペープサート、 人形劇、絵ばなし	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	31	47.12	クリスマス 子供会	"	"	150
	32	48. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150
48	33	48. 7	七夕まつり 子供会	童話、立絵芝居、 絵ばなし、人形劇	跡見学園女子短大 児童文化研究部	100
	34	48.12	クリスマス 子供会	"	"	150
	35	49. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150
49	36	49. 7	七夕まつり 子供会	童話、立絵芝居、 絵ばなし、人形劇	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	37	49.12	クリスマス 子供会	"	"	120
	38	50. 3	ひなまつり 子供会	"	"	120
50	39	50. 6	七夕まつり 子供会	童話、立絵芝居、 絵ばなし、人形劇	跡見学園女子短大 児童文化研究部	120
	40	50.12	クリスマス 子供会	"	"	150
	41	51. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150
51	42	51. 7	七夕まつり 子供会	童話、立絵芝居、 絵ばなし、人形劇	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	43	51.12	クリスマス 子供会	"	"	150
	44	52. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150

年度	回数	開催年月	行事名	内 容	出演者	参加者
45	45	52. 7	七夕まつり 子供会	人形劇、絵ばなし、 ペープサート	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
	46	52. 8	夏休み子供会	人形劇	児童劇団しいのみ	60
	47	52.12	クリスマス 子供会	人形劇、絵ばなし、 ペープサート	跡見学園女子短大 児童文化研究部	150
52	48	53. 1	ひなまつり 子供会	"	"	150
	49	53. 7	たなばたまつり	人形劇、ペープサー ト、絵ばなし	跡見学園短大 児童文化研究部	150
	50	53.12	クリスマス 子供会	"	"	175
53	51	54. 3	ひなまつり 子供会	"	"	150
	52	54. 6	たなばたまつり こども会	人形劇、絵ばなし、 ペープサート	跡見学園短大 児童文化研究部	130
	53	54.12	クリスマス こども会	"	"	180
54	54	55. 3	ひなまつり こども会	"	"	170
	55	55. 7	たなばた こども会	人形劇、絵ばなし、 ペープサート、ゲーム	跡見学園短大 児童文化研究部	160
	56	55.12	クリスマス こども会	人形劇、ペープサー ト、歌、ゲーム	"	130
55	57	56. 3	ひなまつり こども会	人形劇、ゲーム	文京婦人形劇サークル 「じゃんけんぼん」	120
	58	56. 8	なつやすみ こども会	人形劇、大型紙芝居	文京婦人形劇サークル 「じゃんけんぼん」	180
	59	56.12	クリスマス こども会	人形劇、リズム遊び	児童文化研究会 「しいの実」	200
56	60	57. 3	ひなまつり こども会	人形劇、大型紙芝居	人形劇団チト 幸田真希	150
	61	57. 8	なつやすみ こども会	人形劇	劇団「入道雲」	210

～レコードコンサート～

年度	回数	開催年月	曲 目	参加者	年度	回数	開催年月	曲 目	参加者
38	1	38. 12	タンゴ特集	50	43	33	43. 10	秋を主題としたシャンソン特集	20
	2	39. 1	映画音楽特集	55		34	43. 11	クラシック音楽の夕べ 第5回	40
	3	39. 2	ラテンアメリカ音楽	50		35	43. 12	ヒットポピュラー 1968	50
	4	39. 3	タンゴ特集	40	44	36	44. 4	映画音楽特集	70
5	39. 5	ディキシランドジャズ	45	37		44. 6	クラシック音楽の夕べ 第6回	22	
6	39. 6	小品集	40	38		44. 7	ハワイアン特集	23	
39	7	39. 7	ワルツ・マーチ集	45	39	44. 10	クラシック音楽の夕べ 第7回	18	
	8	39. 9	ウィーンの森の物語他	20	40	44. 10	" 第8回	29	
	9	39. 10	シャンソン特集	30	41	44. 12	ヒットポピュラー 1969	45	
	10	39. 12	クリスマス特集	40	45	42	45. 6	EXPO来日アーティスト特集	58
	11	40. 2	ポピュラーとミュージカル	45		43	45. 7	ロック特集	40
	12	40. 3	モダンジャズの歴史	35		44	45. 9	シャンソンの夕べ	36
13	40. 10	タンゴの歴史 第1回	40	45		45. 10	ショパン作品集	33	
14	40. 10	" 第2回	38	46		45. 11	ベートーベン特集	27	
40	15	40. 11	" 第3回	40	47	45. 12	ヒットポピュラー 1970	71	
	16	40. 12	" 第4回	42	46	48	46. 4	カンツォーネ特集	51
	17	41. 1	中南米音楽の旅 第1回	35		49	46. 6	映画音楽特集	76
	18	41. 2	" 第2回	30		50	46. 9	ラテン音楽特集	20
	19	41. 7	ポピュラーとフォークソング	40	51	46. 10	シューベルト特集	28	
	20	41. 12	ヒットポピュラー 1966	68	52	46. 11	チャイコフスキー特集	54	
21	42. 1	世界のヴォーカルグループ	53	53	46. 12	ヒットポピュラー 1971	63		
41	22	42. 2	モダンジャズ	25	47	54	47. 5	映画音楽特集	78
	23	42. 3	西部劇主題曲特集	40		55	47. 6	ミュージカル名曲集	52
	24	42. 4	春を主題としたシャンソン特集	30		56	47. 9	アクション映画主題曲集	64
	25	42. 6	映画音楽特集	40		57	47. 10	協奏曲集	39
	26	42. 7	ハワイアン特集	40		58	47. 11	バレエ音楽特集	19
	27	42. 9	クラシック音楽の夕べ 第1回	40	59	47. 12	ヒットポピュラー 1972	35	
	28	42. 10	" 第2回	40	48	60	48. 4	春を主題にして	20
	29	42. 12	ヒットポピュラー 1967	40		61	48. 6	ビートルズ特集	130
	30	43. 6	クラシック音楽の夕べ 第3回	20		62	48. 9	" その2	148
31	43. 7	ハワイアン特集	40	63		48. 10	今秋の来日演奏家特集	46	
32	43. 9	クラシック音楽の夕べ 第4回	20	64	48. 11	なつかしの映画音楽集	44		

～歴代職員名簿～

年度	館長	管理係	奉仕係
37	井越昌司	係長 中村伝吉郎	
		福嶋 則雄 大竹 昭雄	沢地 正 小森 実
		中村 悦子 安田ハル子	佐藤 武男 辻 葉子
		小沢 照治	中地美恵子 服部 忠男 菊地 洋子 弘海 高正
38	井越昌司	係長 松村 進	
		福嶋 則雄 大竹 昭雄	沢地 正 佐藤 武男
		中村 悦子 武田 敬吉	辻 葉子 松浦美恵子
		安田ハル子	服部 忠男 中島あけみ
小沢 照治	弘海 高正		
39	井越昌司	係長 飯塚文治郎	係長 瓦吹千代子
		安田ハル子 福嶋 則雄	石河恵美子 小沢 昭治
		中村 悦子 武田 敬吉	沢地 正 辻 葉子
			大竹 昭雄 服部 忠男 松浦美恵子 中島あけみ 荷見 昭雄
40	井越昌司	係長 飯塚文治郎	係長 瓦吹千代子
		安田ハル子 福嶋 則雄	羽田 福子 小沢 昭治
		中村 悦子 武田 敬吉	沢地 正 浅井ちよ子
			大竹 昭雄 服部 忠男 松浦美恵子 荷見 昭雄 石河恵美子

年度	館長	管理係	奉仕係
41	長谷川繁夫	係長 小山 幸夫	係長 瓦吹千代子
		安田ハル子 清水千鶴子	羽田 福子 小沢 昭治
		中村 悦子 武田 敬吉	沢地 正 浅井ちよ子
			杉原 一清 大竹 昭雄 松浦美恵子 荷見 昭雄 石河恵美子
42	荒井龍五郎	係長 小山 幸夫	係長
		安田ハル子 飯塚千鶴子	平井 貞雄 小沢 昭治
		中村 悦子 武田 敬吉	沢地 正 浅井ちよ子
			松浦美恵子 杉原 一清 丸山 弘子 荷見 昭雄 石河恵美子 羽田 福子
43	荒井龍五郎	係長 小山 幸夫	係長 平井 貞雄
		安田ハル子 飯塚千鶴子	古内 義朗 沢地 正
		山口ヤスエ 武田 敬吉	浅井ちよ子 杉原 一清
			荷見 昭雄 石河恵美子 安齊 光恵 羽田 福子 青島 正子
44	荒井龍五郎	係長 平井 貞雄	係長 三浦 宏
		安田ハル子 山口ヤスエ	古内 義朗 浅井ちよ子
		塩田 光恵 武田 敬吉	佐藤 武男 下條 純子
			吉池 正子 羽田 福子 杉原 一清 飯塚千鶴子 青島 正子

年度	館長	管理係	奉仕係
45	桐谷順吉	係長 三浦 宏	係長 小山 幸司
		安田ハル子 重原ヤスエ	古内 義朗 浅井ちよ子
		武田 敬吉 塩田 光恵	佐藤 武男 下條 純子
			杉原 一清 飯塚千鶴子 青島 正子 北畠希美子 磯川 紀子
46	桐谷順吉	係長 三浦 宏	係長 小山 幸司
		安田ハル子 武田 敬吉	古内 義朗 佐藤 武男
		重原ヤスエ 塩田 光恵	下條 純子 飯塚千鶴子
			杉原 一清 青島 正子 北畠希美子 磯川 紀子 山口美佐子
47	榎本五郎	係長 小山 幸司	係長 伊藤 章吾
		安田ハル子 武田 敬吉	金子 保 佐藤 武男
		重原ヤスエ 塩田 光恵	杉原 一清 下條 純子
			青島 正子 北畠希美子 磯川 紀子 山口美佐子 古内 義朗
48	榎本五郎	係長 小山 幸司	係長 鈴木 安司
		安田ハル子 武田 敬吉	山口 豊 早乙女政子
		塩田 光恵 青島 正子	佐藤 武男 下條 純子
			北畠希美子 磯川 紀子 坂木美佐子 古内 義朗 金子 保

年度	館長	管理係	奉仕係
49	宮永政次郎	係長 鈴木 安司	係長 川崎 嘉樹
		安田ハル子 武田 敬吉	山口 豊 早乙女政子
		塩田 光恵 田中 邦彦	佐藤 武男 下條 純子
			青島 正子 矢野 紀子 坂木美佐子 古内 義朗 金子 保
50	村上幸栄	係長 鈴木 安司	係長 川崎 嘉樹
		安田ハル子 武田 敬吉	山口 豊 佐藤 武男
		水越 歌子 田中 邦彦	松下 公子 矢野 紀子
			今野 陽子 坂木美佐子 須藤 孝子 古内 義朗 金子 保
51	村上幸栄	係長 小石 巖	係長 川崎 嘉樹
		安田ハル子 重原ヤスエ	山口 豊 今野 陽子
		武田 敬吉 水越 歌子	金子 保 佐藤 武男
			須藤 孝子 田中 邦彦 古内 義朗 松下 公子
52	村上幸栄	係長 田中 定雄	係長 岩城 義明
		水越 歌子 伊藤 剛	山口 豊 今野 陽子
		重原ヤスエ 武田 敬吉	岡野 英代 金子 保
			佐藤 武男 須藤 孝子 田中 邦彦 平柳ひとみ 古内 義朗

年度	館長	管理係	奉仕係
53	金子義夫	係長 田中 定雄	係長 岩城 義明
		水越 歌子 伊藤 剛	松沼 久雄 今野 陽子
		重原ヤスエ 武田 敬吉	岡野 英代 金子 保
			楠家 照子 須藤 孝子 高峯 麗子 平柳ひとみ 古内 義朗
54	高橋義人	係長 田中 定雄	係長 岩城 守
		武田 敬吉 浅野 貞子	松沼 久雄 今野 陽子
		伊藤 剛 重原ヤスエ	岡野 英代 金子 保
			紫富田忠和 須藤 孝子 高峯 麗子 平柳ひとみ 古内 義朗
55	高橋義人	係長 若木 栄仁	係長 岩崎 守
		武田 敬吉 浅野 貞子	山崎 美紀 岡野 英代
		伊藤 剛 重原ヤスエ	金子 保 紫富田忠和
			仙崎 陽子 高峯 麗子 平柳ひとみ 古内 義朗 松沼 久雄
56	大谷和子	係長 若木 栄仁	係長 岩崎 守
		松沼 久雄 浅野 貞子	山崎 美紀 岡野 英代
		伊藤 剛 武田 敬吉	加藤木圭子 金子 保
			紫富田忠和 仙崎 陽子 高峯 麗子 寺川 園子 古内 義朗

年度	館長	管理係	奉仕係
57	大谷和子	係長 中村 喜一	係長 伊東 邦夫
		山崎 美紀 伊藤 剛	古内 義朗 岡野 英代
		武田 敬吉 松沼 久雄	加藤木圭子 小山 吉博
			紫富田忠和 須田 昌子 仙崎 陽子 高峯 麗子 寺川 園子

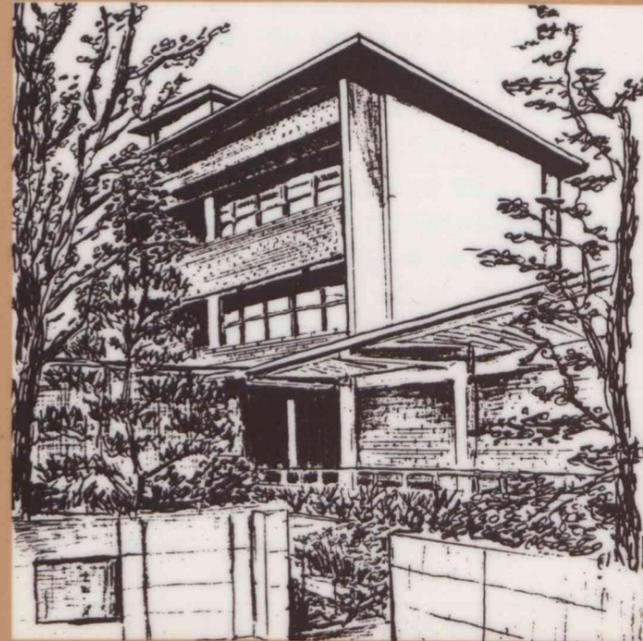


2003.5.14  
文京区立図書館

文京区立鷗外記念本郷図書館  
20年のあゆみ

昭和57年11月9日発行

編集・発行  
東京都文京区立鷗外記念本郷図書館  
〒113 東京都文京区千駄木一丁目23  
番4号  
電話 東京(03)828-2070・2071



K